

考案した数学的ビーズ編みを紹介する
堀部さん＝春日井市の春日井東高で



ビーズ編み 数学美に触れて

春日井東高 元教諭・堀部さんの作品展

春日井東高校(春日井市)の元数学教諭、堀部和経さん(69)＝岐阜県多治見市＝が考案した「数学的ビーズ編み」の作品展が、同校図書室で19日まで開かれている。数学の理論を使

い、規則正しくビーズを組み合わせるとできるオブジェのような作品が、高校生や来場者の目を引いている。

江戸時代の和算の公式集の巻末問題をきっかけに制作を始め、約30年になる。作品の面は5、6、7角形のいずれかでそろえる。面

の組み合わせや数を変えることで、大きさや曲線が変わるといふ。サッカーボールや冠のような作品など37種が展示され、触って見比べることもできる。

堀部さんは「5、6、7角形を使うだけでいろんな形が作れて面白い。どの年代も面白がってくれている」と話している。

展示は午後1時から4時45分まで。学校関係者以外は正面玄関で受付票を記入して会場へ。期間中は、堀部さんが会場にいる。

(長谷川和華)